

入札番号 第 1 号

物 件 名 森林環境保全整備事業(尾去山外 2 国有林)

契約書(案)

林分条件調査表

位置図 1/20000

位置図 1/5000

(案)

造林事業請負契約書

発注者 分任支出負担行為担当官 米代東部森林管理署長 五十嵐 和人と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び契約内訳書、並びに令和8年1月28日に交付した国有林野事業製品生産事業請負契約約款、素材の検知業務請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

案件名称	森林環境保全整備事業（尾去山外2国有林）
案件内容・仕様	別紙契約内訳書のとおり
契約金額 (税込み)	金 円 (うち消費税及び地方消費税相当額 円)
納入期限	令和9年1月22日
契約期間	令和 年 月 日（契約締結日の翌日）～令和9年1月22日
納入場所	尾去山外2国有林3174林班ほ小班外
契約保証金	免除
備考	

この契約書の締結の証として、本文書に対し発注者及び請負者が署名を行ったものを本システムで保存し、長期に渡って当該契約の成立及び内容を立証する。

令和 年 月 日

発注者 分任支出負担行為担当官
米代東部森林管理署長 五十嵐 和人

請負者

契約内訳書

- 1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積	請負 予定 数量	請負 予定 単価	請負予定金額	事業 場所	生産完了 検査場所
					契約書のとおり		

- 2 事業期間

自 令和 年 月 日
至 令和 9年 1月22日

- 3 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。

(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
×	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
×	支給材料及び貸与品		第15条
×	前金払	分の 以内	第35条第1項
×	中間前金払		第35条第4項
○	部分払	月1回以内	第38条
○	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

4 支給材料及び貸与物件

品名	品質規格	数量	引渡予定場所	引渡予定月日
なし				

5 技術提案事項の履行確保

別紙１のとおり

6 特約事項

別紙２、別紙３及び別添・特記仕様書のとおり

別紙 1

技術提案事項の履行確保

請負者は、令和 年 月 日付けで提出のあった技術提案書で提示した技術等については、次のとおり評価された項目及び内容の履行を確保するものとする。

項 目	評 価	内 容
事業計画の工程管理		事業計画の工程管理及び工程管理に係わる工夫・提案
事業の計画・実施に係わる提案		事業計画上の考慮事項に係わる工夫・提案
		自然環境への配慮、生産性向上に係わる工夫・提案
		品質管理に係わる工夫・提案
		安全対策に係わる工夫・提案

請 負 事 業 内 訳 書

林 小 班	伐 区	材 種	作 業 工 程	予 定 数 量	備 考
3174ほ		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	309	
3174ほ1		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	74	
3174と		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	164	
3174と2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	144	
3174と3		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	42	
3174と4		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	260	
3174と5		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	60	
3174と6		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	123	
3174と8		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	489	
3174ち		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	60	
3174ぬ		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	251	
3174る		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	513	
3174る2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	112	
3174る3		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	68	
3174わ伐区1		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	517	
3174わ伐区2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	179	
3174か		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	704	
3174か1		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	52	
3174か2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	84	
3174よ		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	191	
3174そ		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	80	
3174な		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	155	
3174む		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	21	

請 負 事 業 内 訳 書

林 小 班	伐 区	材 種	作 業 工 程	予 定 数 量	備 考
3175ろ		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	28	
3175は		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	674	
3175は2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	72	
3175は3		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	62	
3175は4		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	109	
3175は5		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	35	
3175に		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	29	
3175ら		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	47	
3175ら2		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	34	
3175ら4		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	89	
計		一 般 材 低 質 材	伐木造材・集材・運材・巻立	5, 831	

検知業務請負作業内訳書

単位：m3

物件番号	材 種	作 業 工 程	予 定 数 量	備 考
	素 材	(1) の 業 務	2, 1 3 9	
		(2) の 業 務	5 0 2	
		(5) の 業 務	2, 1 9 0	
		計	4, 8 3 1	

注 1 各物件の内訳数量を、検知業務請負契約の作業内容毎に基づき記載すること。

検知業務請負（作業内容）

- (1) の 業 務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2) の 業 務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (5) の 業 務 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

別紙 2

国庫債務負担行為に係る契約の特則

適用削除 の 区 分	選 択 事 項		選 択 条 項
○	各会計年度における請負 金の支払限度額	7 年度 0 円	第40条第 1 項
		8 年度 円	
○	支払限度額に対応する各 会計年度の出来高予定	7 年度 0 円	第40条第 2 項
		8 年度 円	
×	前払金		第41条
×	翌会計年度の前払金相当額	円	第41条第 3 項
○	部分払		第42条
×	前払金の支払を受けている 場合の部分払額の決定	(a)	第42条第 2 項
		(b)	
○	各会計年度において部分払 を請求できる回数	7 年度 0 回	第42条第 3 項
		8 年度 11 回	

特約事項（製品生産事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生いのししにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力する。

また、野生いのししの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、米代東部森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生いのししの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款第 20 条により対応する。

特 記 仕 様 書

- 1 虫害時期においては、防虫対策として薬剤散布を行い製品の品質管理に努めること。
- 2 国有林材の生産量の調整の必要が生じた場合には、生産調整に可能な範囲で協力する。
- 3 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬するときの支障とならないようにする。
- 4 本契約は、国有林材（製品）の安定供給システム販売における直送システムをする物件であり、直送システムの予定数量は1,000m³とする。なお、安定供給システム販売の公募において、直送システムに関する企画提案の申請がない場合は、山元土場での巻立経費及び検知数量を変更する。
※直送システムとは、山元土場での検知は行わず、安定供給システム協定者の自動選別機で計測された本数・材積を採用する方法。

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均 胸高 直径 cm	立木材材量			生産量			予定作業量																	最寄り市町村 からの距離 km	備 考				
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬				巻立		森林作業道作設		林地保全		土場 作設等 h	砂利 数量 m³	薬剤 散布 (ススバ イ)			鉄板 規格*枚数			
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワード 片道運搬距離 m	数量 m³	グラブフル付きトラク 片道運搬距離 m	数量 m³	数量 m³	緩・中・急 m	数量 m³	数量 m³	林地傾斜 延長 m	2種 編柵 m							緑化 m²		
3174ほ	水濘保	スギ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	6.22	25	22	2,025	613	0.30	301	8	309	全木	613	プロセッサ	309	1705	309	500	309	309	緩											尾去沢支所	6.5	作業期間 11/30まで
3174ほ1	水濘保	スギ	41	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.49	25	22	484	147	0.30	72	2	74	全木	147	プロセッサ	74	1226	74	500	74	74	緩											6.5	"	
3174と	水濘保	スギ	38	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.83	25	20	1,113	328	0.29	163	1	164	全木	328	プロセッサ	164	444	164	500	164	164	緩											6.5	"	
3174と2	水濘保	スギ	52	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.45	25	22	863	273	0.32	140	4	144	全木	273	プロセッサ	144	712	144	500	144	144	緩											6.5	"	
3174と3	水濘保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.73	25	20	286	85	0.30	42	0	42	全木	85	プロセッサ	42	805	42	500	42	42	緩											6.5	"	
3174と4	水濘保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.43	25	22	1,557	493	0.32	252	8	260	全木	493	プロセッサ	260	805	260	500	260	260	緩											6.5	"	
3174と5	水濘保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.00	25	22	350	111	0.32	58	2	60	全木	111	プロセッサ	60	520	60	500	60	60	緩											6.5	"	
3174と6	水濘保	スギ	52	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.09	25	22	743	232	0.31	119	4	123	全木	232	プロセッサ	123	304	123	500	123	123	緩											6.5	"	
3174と8	水濘保	スギ	53	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	8.3	25	22	2,932	923	0.31	474	15	489	全木	923	プロセッサ	489	462	489	500	289	289	緩											6.2	"直送	
3174ち	水濘保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.04	25	20	409	121	0.30	60	0	60	全木	121	プロセッサ	60	1556	60	500	60	60	中											6.5	"	
3174ぬ	水濘保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.29	25	24	810	467	0.58	247	4	251	全木	467	プロセッサ	251	1764	251	500	251	251	中											6.5	"	
3174る	水濘保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	6.61	25	24	1,629	939	0.58	506	7	513	全木	939	プロセッサ	513	1983	513	500	313	313	中											6.5	"直送	
3174る2	水濘保	スギ	56	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.43	25	24	355	203	0.57	111	1	112	全木	203	プロセッサ	112	1302	112			112	中											4.6	"直送	
3174る3	水濘保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.18	25	20	465	137	0.29	68	0	68	全木	137	プロセッサ	68	1745	68			68	中											4.6	"	
3174わ伐区1	水濘保	スギ	77	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.99	25	40	614	876	1.43	517	0	517	全木	876	プロセッサ	517	1165	517			317	中											4.6	"直送	
3174わ伐区2	水濘保	スギ	77	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.31	25	42	241	393	1.63	175	4	179	全木	393	プロセッサ	179	1367	179			179	中											4.6	"	
3174か	水濘保	スギ	50	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	9.42	25	24	2,327	1,338	0.57	695	9	704	全木	1,338	プロセッサ	704	1317	704			504	緩											4.6	"直送	
3174か1	水濘保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.7	25	24	174	99	0.57	51	1	52	全木	99	プロセッサ	52	1220	52			52	緩											4.6	"	
3174か2	水濘保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.12	25	24	273	159	0.58	83	1	84	全木	159	プロセッサ	84	1224	84			84	緩											4.6	"	
3174よ	水濘保	スギ	40	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.23	25	20	1,272	375	0.29	190	1	191	全木	375	プロセッサ	191	1524	191			191	緩											4.6	"	
3174そ	水濘保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.38	25	20	539	160	0.30	80	0	80	全木	160	プロセッサ	80	1049	80			80	中											4.6	"	
3174な	水濘保	スギ	74	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.40	25	32	306	285	0.93	153	2	155	全木	285	プロセッサ	155	1820	155			155	中											4.6	"	
3174む	水濘保	スギ	75	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.34	25	30	57	42	0.74	21	0	21	全木	42	プロセッサ	21	1701	21			21	中											4.6	"	

(様式6)

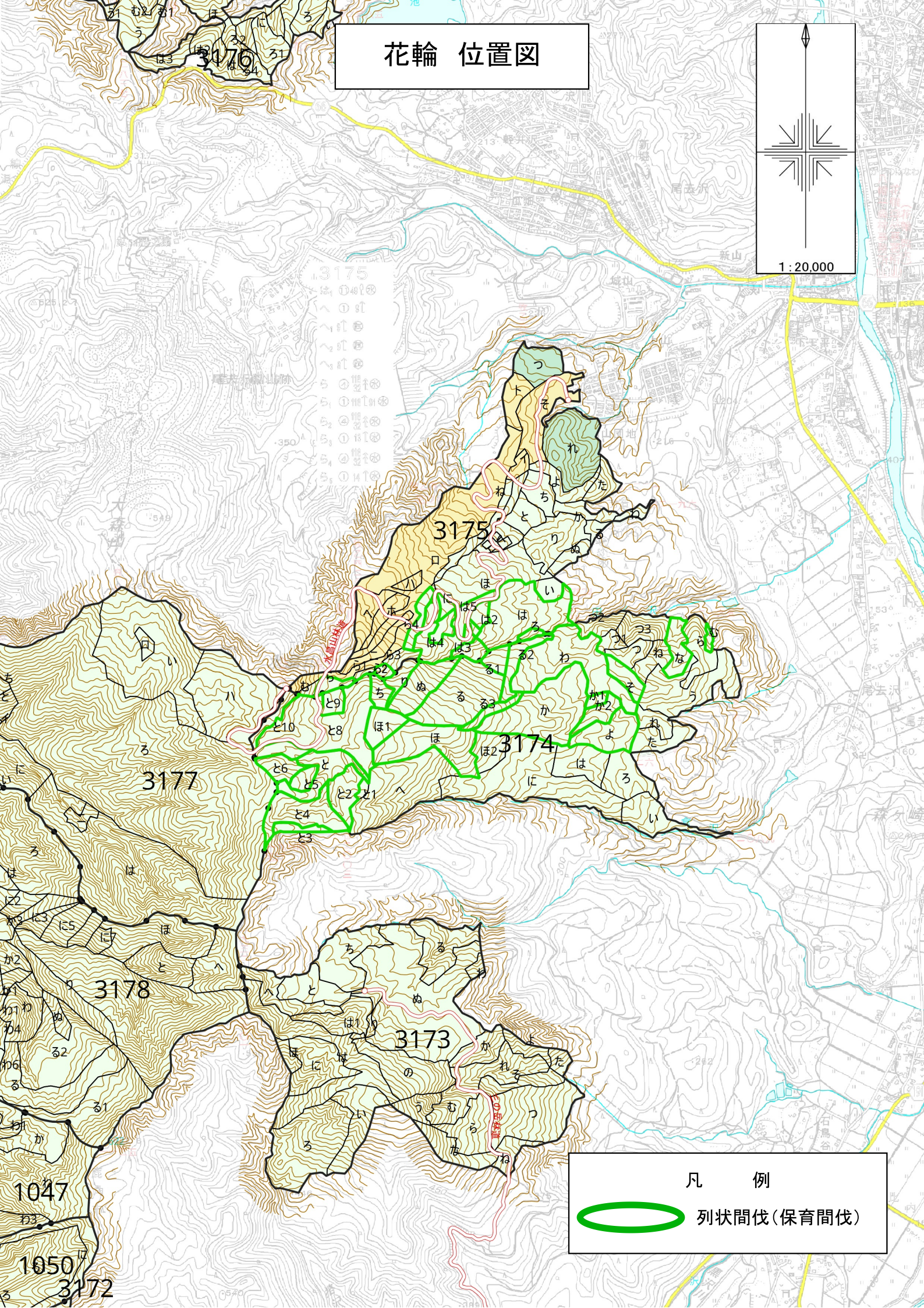
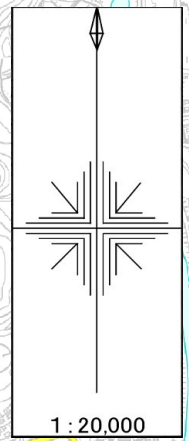
令和8年度 林分条件調査表

森林管理署	米代東部森林管理署	
物件番号	2	
物件名	森林環境保全整備事業(尾去山外2国有林)	

林小班	保安林 種別等	主要樹種	林 齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐 採 率 %	平均 胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村 からの距離 km	備 考			
									本数	材積 m ³	m ³ /本 m ³	N m ²	L m ²	計 m ²	伐倒 方法	数量 m ³	集・造材 方式	数量 m ³	小運搬			巻立		森林作業道作設		林地保全		土場 作設等 h			砂利 数量 m ³	薬剤 散布 (ススバ イソ)	鉄板 規格*枚数
																			フォワード 片道運搬距離 m	数量 m ³	グラブブル付きトラッ ク片道運搬距離 m	数量 m ³	数量 m ³	林地傾斜 緩・中・急 m	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m ²						
3175ろ	水涵保	スギ	70	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.28	25	28	62	50	0.81	28	0	28	全木	50	プロセッサ	28	525	28			28	緩								4.7	〃
3175は	水涵保	スギ	56	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	7.88	25	22	2,758	1,229	0.45	671	3	674	全木	1,229	プロセッサ	674	418	674			474	緩								4.6	〃 直送
3175は2	水涵保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.86	25	22	298	134	0.45	72	0	72	全木	134	プロセッサ	72	113	72			72	緩								4.6	〃
3175は3	水涵保	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.25	25	16	693	124	0.18	53	9	62	全木	124	プロセッサ	62	125	62			62	緩								4.7	〃
3175は4	水涵保	スギ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.21	25	16	1,227	218	0.18	92	17	109	全木	218	プロセッサ	109	139	109			109	緩								5	〃
3175は5	水涵保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.07	25	20	279	69	0.25	34	1	35	全木	69	プロセッサ	35	120	35			35	緩								4.4	〃
3175に	水涵保	スギ	60	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.33	25	22	121	51	0.42	29	0	29	全木	51	プロセッサ	29	46	29			29	緩								4.9	〃
3175ら	水涵保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.56	25	30	91	95	1.04	46	1	47	全木	95	プロセッサ	47	92	47			47	中								6	〃
3175ら2	水涵保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.40	25	30	62	68	1.10	33	1	34	全木	68	プロセッサ	34	584	34			34	中								6	〃
3175ら4	水涵保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.05	25	30	157	179	1.14	87	2	89	全木	179	プロセッサ	89	121	89			89	中								5	〃
合計						84.87			25,572	11,016		5,723	108	5,831		11,016		5,831		5,831		2,089	4,831		12,000			150	C-80 350	150倍希釈 6,300			

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ～20° 、中:20° ～30° 、急:30° 以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

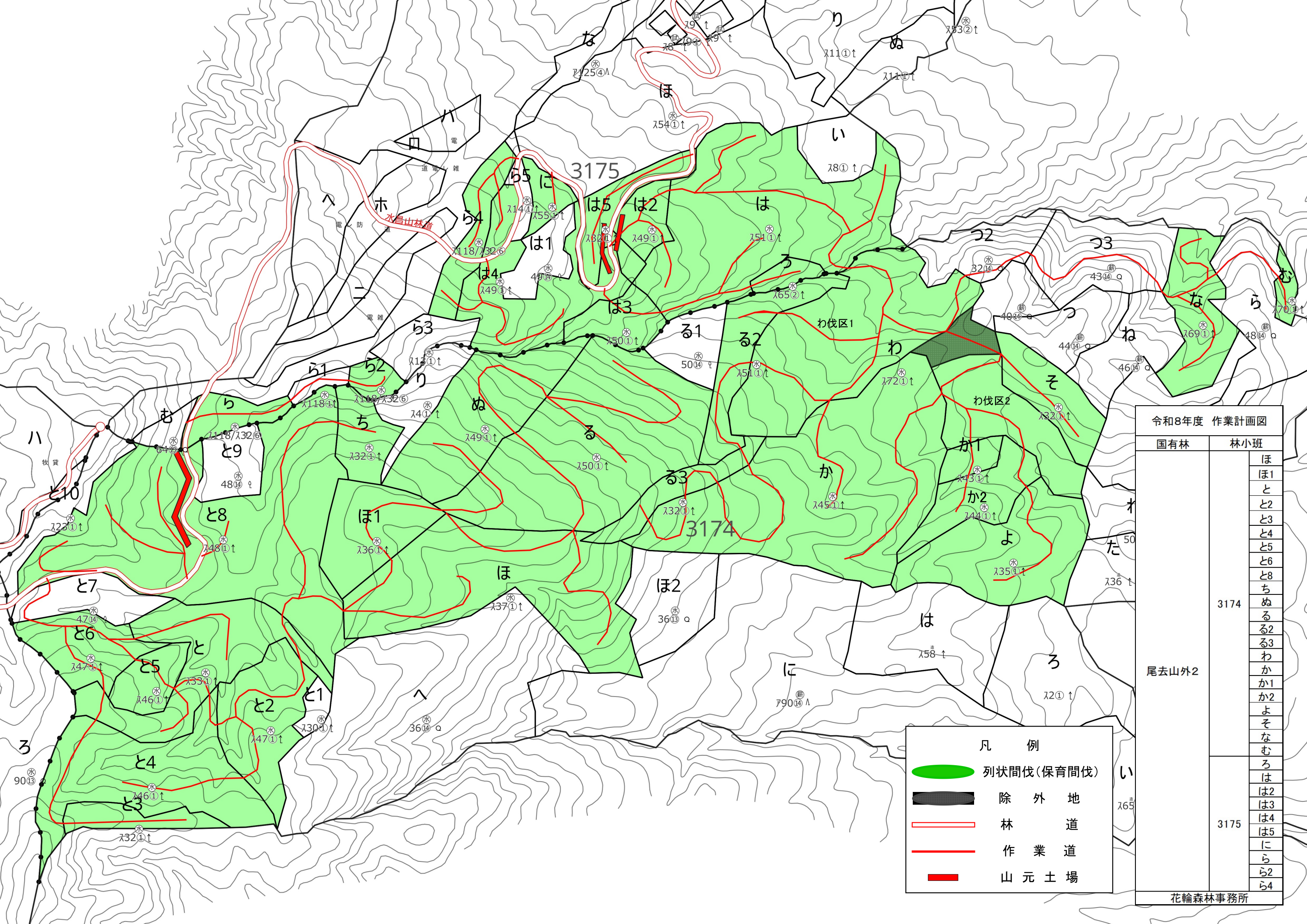
花輪 位置図



凡 例



列状間伐(保育間伐)



凡 例

- 列状間伐(保育間伐)
- 除 外 地
- 林 道
- 作 業 道
- 山 元 土 場

令和8年度 作業計画図		
国有林	林小班	
尾去山外2	3174	ほ
		ほ1
		と
		と2
		と3
		と4
		と5
		と6
		と8
		ち
	3175	ぬ
		る
		る2
		る3
尾去山外2	3174	わ
		か
		か1
		か2
		よ
		そ
		な
		ら
		む
		ら
	3175	は
		は1
		は2
		は3